

山 口 新 聞

平成 25 年 4 月 5 日 (金)

NO.50

守ろう 地域の手

農地・水・環境

50

宇生賀地区は阿武町東部に位置し、四方を山に囲まれた標高400m近い盆地である。周囲の火山噴火によって形成された堰止湖に碎屑物などが堆積して生まれた土地で、農業を主産業とする。高齢化率は47%となつ

保全会は2006年のモニタリング事業により、農家のみならず地区民挙げて「自分達の住む地域は自分達で守つていこう」と地域保全に着手し、07年に正式に誕生。現在、保全会の中心は、

宇生賀農地保全会（阿武町）

開かれた交流を通じて地域に笑顔を！

（事務局長、
田中敏雄）

〔金曜日掲載〕

【メモ】代表＝鈴川達雄
△会員＝102人、農家、うもれ木の郷、四葉

サークル、自治会、保護組合（水路などを管理する任意団体）△設立＝2007年4月19日△受賞歴＝10年度豊かな村づくり全国表彰・農林水産大臣賞（うもれ木の郷、四葉サークル、宇生賀中央自治会）△連絡先＝阿武町宇生賀911、うもれ木の郷内、田中敏雄さん

上会員の皆さん

下山口大学剣道部との草取り作業



1997年に設立された山口県特定農業法人第1号の「うもれ木の郷」である。

保全会設立までの維持管理は農家収入の向上を目的とする作業のみで、非農家への呼び掛けはなかった。

保全会は2006年のモニタ

設立を契機に地区民全員で農地を守る意識が高まり、

農道、水路、河川の清掃、ため池の草刈りなどに汗を

流すようになった。

特に女性の積極的な参加による親水公園周辺の清掃活動や、県道、町道沿線の

花植えによる美化活動など

は、農村を広く開放して

いく必要がある。外部との交流は地域に新鮮な風

農道、水路、河川の清掃、ため池の草刈りなどに汗を

を吹き込み、活力が生まれる。その実践として、昨

年から山口大学剣道部と

会の継続により学生達と一緒に、我々も成長してゆきたい！

今後、農村を守るために花植えによる美化活動など

は、農村景観を大きく変貌させ、10年度「豊かな村づくり大会」では農林水産大臣賞を受賞した。